

令和4（2022）年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	地域産業政策（Regional Industry Policy） 2037133-099					担当教員	牧野 智一 （マキノ トモカズ）		
科目区分	専門科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	2	配当年次	3年次	開講期	前期
科目特性	知識定着・確認型 AL								

① 授業のねらい・概要
<p>地域産業政策とは、国や地方自治体が地方の経済・産業振興のために行う政策である。長引く不況の中、大都市圏と地方の間の経済格差が大きな問題になっている。この地域間の格差を解消し景気を回復するためには、地域産業に対する振興政策により地域の活性化が必要となる。</p> <p>本講義では、地域産業政策の効果や各地で行われている地域産業政策について学修する。本講義の最終的な目的は、地域産業政策に関する理論についての知識を身につけた上で、現実に行われている政策の諸問題を自らの判断で考察する能力を養うことである。</p>
② ディプロマ・ポリシーとの関連
<p>地域社会に貢献する姿勢 / 職業人として通用する能力 / 専門的知識・技能を活用する能力 / 情報収集・分析力を養う。</p>
③ 授業の進め方・指示事項
<p>講義形式の授業を行う。各回の授業内容は関連しているため、十分な復習をした上で授業に臨むこと。</p>
④ 関連科目・履修しておくべき科目
<p>「マクロ経済学」「ミクロ経済学」の知識を有すること。「地方行政」「地域経営」と共に履修することを推奨する。</p>
⑤ 評価 A に対応する具体的な学習到達目標の目安
<p>(i) 授業で取り上げた産業の社会における役割と地域産業の地域における役割のいずれかは他者に適切に説明でき、他方はある程度説明できる。</p> <p>(ii) 授業で取り上げた地域産業政策に関連する知識の全般を他者にある程度説明できる。</p> <p>(iii) 自治体による地域産業政策を調べてまとめ、それらの政策について授業内容を関連させた考察が大半でできている。</p>
⑥ テキスト（教科書）
<p>なし。適宜、資料等のプリントを配布する。</p>
⑦ 参考図書・指定図書
<p>伊藤正昭(2011)『新地域産業論』学文社 河藤佳彦(2008)『地域産業政策の新展開』文眞堂</p>

⑧ ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	S 到達目標を越えたレベルを達成している	A 到達目標を達成している	B 到達目標達成にはやや努力を要する	C 到達目標達成には努力を要する	D 到達目標達成には相当の努力を要する
(i) 産業の社会における役割や地域産業の地域における役割	授業で取り上げた産業の社会における役割と地域産業の地域における役割のどちらも他者に適切に説明できる。	授業で取り上げた産業の社会における役割と地域産業の地域における役割のいずれか他者に適切に説明でき、他方はある程度説明できる。	授業で取り上げた産業の社会における役割と地域産業の地域における役割のどちらも他者にある程度説明できる。	授業で取り上げた産業の社会における役割や地域産業の地域における役割のいずれか他者にある程度説明できる。	授業で取り上げた産業の社会における役割や地域産業の地域における役割を他者にほとんど説明できない。
(ii) 地域産業政策に関連する知識（政策領域や産業領域、担い手）	授業で取り上げた地域産業政策に関連する知識の全般を他者に適切に説明できる。	授業で取り上げた地域産業政策に関連する知識の全般を他者にある程度説明できる。	授業で取り上げた地域産業政策に関連する知識の大半を他者にある程度説明できる。	授業で取り上げた地域産業政策に関連する知識の一部は他者にある程度説明できる。	授業で取り上げた地域産業政策に関連する知識を他者にほとんど説明できない。
(iii) 自治体による地域産業政策の考察	自治体による地域産業政策を調べてまとめ、それらの政策について授業内容を関連させた考察が適切にできている。	自治体による地域産業政策を調べてまとめ、それらの政策について授業内容を関連させた考察が大半でできている。	自治体による地域産業政策を調べてまとめ、それらの政策について授業内容を関連させた考察がある程度できている。	自治体による地域産業政策を調べてまとめただけで、それらの政策について授業内容を関連させた考察ができていない。	自治体による地域産業政策を調べることも、それらの政策について授業内容を関連させた考察も行うことができない。

⑨ 学習の到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法								
学習到達目標（評価項目）	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合				70%		30%		100%
(i) 産業の社会における役割や地域産業の地域における役割				15%		10%		25%
(ii) 地域産業政策に関連する知識（政策領域や産業領域、担い手）				15%		10%		25%
(iii) 自治体による地域産業政策の考察				40%		10%		50%
フィードバックの方法	提出されたレポートの内容についての総評を公表する。							

⑩ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）

昨年度に引き続き、学生諸君が授業内容を理解しやすいように、わかりやすい表現と丁寧な解説を心掛けて授業を行う。

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分） （※特別な持参物）	
1	オリエンテーション	地域産業政策の必要性を自分なりの考えてくる	60分
2	産業とは	産業に対する理解	60分
3	産業の社会における役割	産業の社会における役割の理解	60分
4	地域産業の地域における役割	地域産業の地域における役割の理解	60分
5	地域産業政策の概念①（産業政策と地域政策）	産業政策と地域政策についての理解	60分
6	地域産業政策の概念②（中小企業政策との関連性）	中小企業政策と地域産業政策の関連性の理解	60分
7	地域産業政策の政策領域	地域産業政策の政策領域についての理解	60分
8	地域産業政策の産業領域	地域産業政策の産業領域についての理解	60分
9	地域産業政策の担い手	地域産業政策の担い手と関連についての理解	60分
10	地域資源と地域の産業特性	地域資源と地域の産業特性の関係の理解	60分
11	地域産業政策の現状①（新潟県）	新潟県の産業政策の現状の理解	60分
12	地域産業政策の現状②（県内市町村1）	県内市町村の産業政策の現状の理解	60分
13	地域産業政策の現状③（県内市町村2）	県内市町村の産業政策の現状の理解	60分
14	地域産業政策の課題	地域産業政策の現状と課題についての考察	60分
15	まとめ	各回の講義内容の整理と理解	60分

⑫ アクティブラーニングについて

知識定着・確認型 AL を採用する。各回の授業に対するコメント（感想・質問等）を学生諸君よりもらい、翌週の授業で可能な限りコメントに対する回答を行い、学修効果の向上に活用する。

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目

実務経験の概要

実務経験と授業科目との関連性